

年度 2008 学期 前期	曜日・校時 月～金/5	必修選択 必修	単位数 2単位
授業科目/(英語名)	教養セミナー (First-Year Seminar)		
対象年次 必修科目:「1年次」	講義形態 講義	教室 (別指示)	
対象学生(クラス等) 新入生全員	科目分類 共通基礎科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員: 全学の教員(クラス担当教員は別指示)			
担当教員(オムニバス科目等)			
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>授業のねらい: 知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力、レポートや口頭でのプレゼンテーション及びディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における自主的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員及び学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。</p> <p>授業方法: 1クラス10名程度の複数の学部学生で構成し、原則として1名の教員が前期を通じて担当する(それぞれのクラスを担当する教員同士が、前半、後半でクラスを交代する場合もある)。</p> <p>授業到達目標: ① 知的活動への動機づけを高める。② 科学的な思考方法と学習・実験のデザイン能力を育てる。③ レポートや口頭でのプレゼンテーション及びディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てる。④ 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を知る。</p>			
<p>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新入生を4つのグループに分け、 Aグループ(教育学部、薬学部、水産学部の混成)を月曜日及び火曜日、 Bグループ(教育学部、医学部、歯学部、薬学部、工学部、環境科学部、水産学部の混成)を水曜日、 Cグループ(医学部、歯学部、工学部、環境科学部の混成)及びDグループ(経済学部)を木曜日及び金曜日、 の各曜日5校時に開講する。 2. 1クラスの学生は、10名程度とし、複数学部の学生が混在するクラスを編成する。 (経済学部は経済学部学生のみを編成) 3. 原則として1名の教員が前期を通じて担当、指導する。 (それぞれのクラスを担当する教員同士が、前半、後半でクラスを交代して、指導する場合もある。) 4. 単位は15週(30時間)で2単位とする。学生が自主的に学習をすすめることが出来るよう、討論、実習、実地調査など体験的で双方向的学習形態をとるが、具体的な実施方法については、担当教員が決める。 5. 教養セミナーのテーマは、大学教育へのオリエンテーション機能を持つこと、学生が複数の学部生の混成であることなどを考慮し、学生との話し合いを重視する。 			
キーワード			
教科書・教材・参考書	各クラス担当教員の指示による。		
成績評価の方法・基準等	<p>教養セミナーに対する取り組み方・ディスカッション(教養セミナーに対する積極的な参加、情報の収集状況・分析など)、プレゼンテーション(分かりやすい資料、話の構成、説得力など)、レポート(構成、文書表現など)により総合評価する。 (詳細は授業開始時に各担当教員から提示する。)</p>		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			